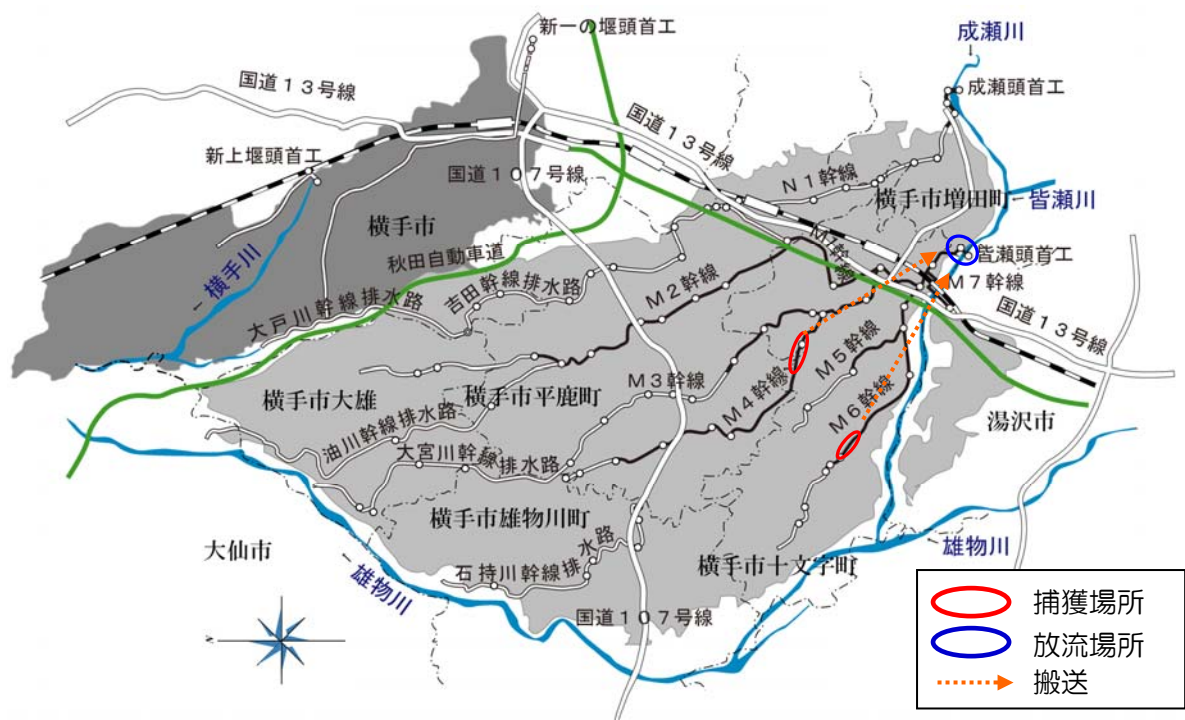




お魚引越し大作戦！！

10月8日（金）と10月12日（火）の2日間、今年度に改修工事を行う皆瀬4号幹線用水路（737m）と皆瀬6号幹線用水路（406m）に生息している魚類の移植調査を行いました。幹線用水路で捕獲した魚類は、皆瀬頭首工取水口から迷入してきたものとして、皆瀬頭首工まで搬送後、頭首工下流に放流しました。調査は、当事業所と雄物川筋土地改良区を含む延べ総数約20名が参加し、工事業者の協力も得ながら行いました。



調査手順

1. タモ網とサデ網を使用して、捕獲を行いました。幹線用水路全線を歩きながら魚類を追い込み、落水後の水溜まり場所となる落差工を主体的に捕獲しました。



▲魚類の追い込み



▲落差工での魚類捕獲



▲流入工での魚類捕獲

2. 捕獲した魚類はコンテナに入れ、エアポンプで酸素を送り込みながら、約8kmの道のりを軽トラックで運びました。



▲軽トラックでの運搬



▲コンテナに入った魚類

酸素不足や、水温の上昇により、魚類が死亡しないよう、「手順1(捕獲)→手順2(搬送)→手順3(識別)」を2時間以内に終わる様、1度で捕獲できなかった場合は、これらのサイクルを繰り返し行いました。

3. 魚類識別と体長測定を行い、測定を終えた魚類から順に移入種を除き放流しました。なお、一魚種当りの個体数が一定基準(50匹)に達したら、魚種識別のみを行い、放流しました。



▲魚種識別・体長測定



▲魚種識別・体長測定



▲魚種識別・体長測定

調査結果

種名 [] : 特定種	特定種		移植個体数		合計
	環RL	秋RDB	M4	M6	
1 スナヤツメ			1		1
2 コイ				2	2
3 ギンブナ				2	2
4 ヤリタナゴ	NT	NT		3	3
5 アカヒレタビラ				2	2
6 タイリクバラタナゴ				7	7
7 オイカワ			268	32	300
8 カワムツ				2	2
9 アブラハヤ			37	79	116
10 ウグイ			43	378	421
11 モツゴ			30	6	36
12 ビワヒガイ			10		10
13 ニゴイ			1	10	11
14 ドジョウ			88	7	95
15 ナマズ				1	1
16 アカザ	VU	CR	1		1
17 アユ			1	15	16
18 ヤマメ	NT			1	1
19 カジカ大卵型	NT		81	48	129
20 イワナ				2	2
個体数合計			561	597	1158
確認種合計			11	17	20

表に示した魚種が確認されました。黄色でマーカしている魚種が環境省レッドリスト、秋田県レッドデータブックに載っている魚種です。

調査を始めてみると、魚の多さに皆びっくり！国営水路には、非常に豊かな生態系があることを、職員が身をもって感じました。

今回の調査では、不慣れなりにも、職員が一丸となって取り組み、平鹿平野地区の生態系を守り、生物多様性を維持・保全するという大きな役割を果たしました。

〈発信：平鹿平野農業水利事業所〉